

社会福祉法人年輪

平成 30 年度 事業報告書

1. 法人
2. 平成 30 年度総括
3. 本部事業報告
4. いいあさファーム報告

1.法人

(1) 概略

法人名 社会福祉法人 年輪 (ねんりん)
所在地 東京都青梅市成木三丁目3 1 5 番地の7
理事長 西河 洋一
設立認可年月日 平成29年1月31日
法人登記年月日 平成29年2月2日

(2) 社会福祉事業-拠点区分-サービス区分

いいあさファーム (拠点区分)
・本部 (サービス区分)
・就労継続B型 (サービス区分)
・生活介護 (サービス区分)

2.平成30年度総括

| 平成30年度総括 | |
|--|--------------------|
| (1) 平成30年度の取り組み及び結果について | |
| 昨年度は、以下大きく3つの取り組みを実施し、それぞれの結果となった。 | |
| 取り組み内容 ① | 目的 |
| 経営基盤の安定を図るための売上向上 | 法人としての赤字の収益状況の早期改善 |
| 取り組みに対する結果 = 黒字化の達成 『 ◎ 』 | |
| 就労支援事業における畑及び水耕栽培への取り組みへの評価や、送迎対応などの地域ニーズにより、利用者数は短期間(9ヶ月)で施設受入可能な人数のほぼ上 | |

限にまで達し、収支の黒字化を達成する事が出来た。

(平成 29 年度：-3,690,935 円→平成 30 年度：5,892,381 円)

| 取り組み内容 ② | 目的 |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 利用者の受け入れ体制構築及び職員の障害者支援技術の向上 | 事業所職員が全員介護職未経験者のため、支援技術の向上を目的 |

取り組みに対する結果 = 利用者との関係構築が出来た 『 ○ 』

職員が研修受講時、東京都福祉保健局から代替職員を派遣してくれる制度等の活用を積極的に取り入れ、社外研修等積極的に行った事で、職員の支援技術もある程度の成果を果たす事が出来た。

権利擁護研修、支援技術研修への参加（東京都主催）

各特別支援学校セミナー研修への参加

知的障害者福祉協会主催の研修への参加

東京都社会福祉協議会主催の研修への参加

日本精神遅滞教育研究会春季講座への参加 など

| 取り組み内容 ③ | 目的 |
|-------------------|-------------------|
| 新規施設もしくはサテライト事業所の | 現状の利用定員以上の利用希望者に対 |

| | |
|--|---------------|
| 設立 | 応するための新規施設の展開 |
| 取り組みに対する結果 = 用地が確保出来なかった 『 × 』 | |
| <p>いいあさファームの向かいの空き地に新たな施設を設立するべく、土地所有者の方と交渉を開始した結果、売買の確約が取れたため、設計士、行政機関と協議を図りながら土地の購入と補助金申請の段階まで進めていたが、土地の購入の際に問題が生じ、とん挫した為、新たな立地を探す事になった。</p> | |
| <p>(3) 平成 30 年度の総括</p> <p>平成 30 年度当初の大きな課題であった、「法人の収益黒字化」は達成できる事が出来たため、大きな成果が出たと判断。加えて、重度障害者の受け入れ体制作りと、職員の支援力向上についても利用者との関係性構築が出来た事から、及第点がつけられる。</p> <p>しかし、現在、いいあさファームの受け入れ定員が上限に達してはいるが、重度の障害者を中心に、地域からの受け入れ依頼の要望は多数あり新規施設開設を検討しているが、設立予定地の計画がとん挫し、新規施設設立の取り組みは振り出しに戻っている。(※現在、近隣で候補地が見つかったため、所有者との協議開始予定) 2019 年度は、早急に新規施設の確保に取り組む必要がある。</p> | |

3.本部事業報告

(1) 評議員会

| | |
|-------|--|
| 6月16日 | ① 平成29年度事業報告承認 ② 平成29年度計算書類及び財産目録の承認 ③ 平成30年度役員報酬総額の承認 |
| 8月27日 | ① 平成30年度収支予算承認 ② 平成30年度第一次補正予算承認 ③ 計算書類及び財産目録修正の承認 |
| 3月24日 | ① 平成30年度最終補正予算の承認 ② 平成31年度事業計画及び予算承認 |

(2) 理事会

| | |
|-------|--|
| 5月26日 | ① 平成29年度事業報告書承認 ② 平成29年度計算書類及び財産目録の承認 ③ 定時評議員会招集決議 ④ 業務執行報告 ⑤ 新規事業計画審議 |
| 8月18日 | ① 平成30年度第一次補正予算承認 ② 平成29年度計算書類及び財産目録修正の承認 ③ 評議員会招集決議 ④ 業務執行報告 |
| 3月15日 | ① 平成30年度最終補正予算承認 ② 平成31年度事業計画及び予算承認 ③ 評議員会招集決議 |
| 3月24日 | ① 業務執行報告 ② いいあさファーム定員変更について |

(3) 監事監査 平成30年5月28日

(4) その他監査 なし

(5) 助成金・補助金等

| | |
|----------------------|------------|
| 松の花基金（カーポート助成金） | 350,000円 |
| 愛恵福祉支援財団（農機具倉庫購入助成金） | 200,000円 |
| 出光文化財団（ソーラーシステム助成金） | 1,000,000円 |

4.いいあさファーム事業報告

1、利用者状況

① 利用者推移：別紙参照（昨年度3月末時点）

○12月末時点契約利用者：24人（17人）

・就労継続支援B型事業：15人（11人）

・生活介護事業：9人（6人）

○12月末時点平均利用人数：19.5人（9.53人）

② 実習生受入状況

○羽村特別支援学校：5月 3年生 2人 5日間

：7月 2年生 3人 3日間

：11月 2年生 3人 15日間

2年生 1人 3日間

：12月 1年生 2人 2日間

○入間わかくさ特別支援学校

：6月 3年生 1人 5日間

③ 体験者受入状況

○多数受け入れを行い、実質利用へつなげている

④ 関係各機関との連携

地域ニーズの聞き取りとして、重度の方の受け入れ先がないことがより鮮明となる。

今後の方向性として、受け止めていく。

○青梅市、羽村市、飯能市および周辺行政機関の障害福祉課、保健師

○周辺地域の社会福祉協議会

○各地域：相談支援事業所、就労支援センター、就労移行支援事業所

○医療機関：地域医療支援病院、精神科病院、精神科クリニック

○教育機関：各特別支援学校

など

2、活動状況

① 作業グループ別活動

○グループ別による作業班の形成

・すばる作業グループ：A B・C班

A B班：主に水耕栽培と農耕作業を中心とした、授産作業に取り組む。就労を目指す方も含み、作業へのしっかりとした取り組み方の支援を行う。

*精神疾患の方から、得意を活かした知的障害の方など、作業認識の高い方が所属されている。

C班：主に、室内作業を中心とした様々な課題に取り組む。作業の準備性を含めた、幅の広い課題を行い、少しずつ作業へ取り組む姿勢、意識、認識を高める支援を行う。

*車椅子利用の方から、自閉傾向の方などを含む、様々な方が所属されている。

・行動障害グループ：寺子屋班

主に、外での作業を中心に取り組み、作業への準備性をつけていくために、療育的な要素を取り入れながら、様々な課題に取り組む。本人が作業への見通しをつけていくことで、不安感や、やり通す意識をつけていく支援を行う。

*自傷行為や他害行為、大きな声だし、物を叩くなどを含めた行動障害の方々が所属されている。

② 授産作業

○畑作業

- ・収穫物：今期も販売に適したものには至らず、いいあさファームのお昼として、利用者さんと、季節の恵みと収穫の喜び、自然の美味しさを頂く。
- ・(株)ユニワールド産業からの栽培委託
赤しそジュース作成のための、赤しその栽培委託を受ける
- ・水耕栽培での副産物（廃棄品）を中心に、ご近所さんより頂いた馬糞、近隣のお弁当事業（B型事業所）より頂いた米ぬかなどを利用し、耕作地の周囲のスペースを活用して堆肥を作成。農閑期に堆肥として活用し、次期のみよりのための耕地改良を進める。
- ・(株)紀の土から土壌改良の提案を受け、アミノ酸を中心とした堆肥液を散布。今後の、生産物への生育もご指導いただく。また、農業指導として、農業経験が豊富な石川様に栽培を見ていただいている。

○水耕栽培

- ・発芽にんにく

| | | | | | | |
|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 各月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 金額 | ¥48,185 | ¥45,592 | ¥28,923 | ¥54,956 | ¥42,704 | ¥47,747 |
| 各月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 金額 | ¥39,189 | ¥22,576 | ¥29,300 | ¥8,500 | ¥21,350 | ¥61,300 |

- ・自主販売を始動。

近隣の生産物販売所にて、4月より販売開始。

インターネットによる、販売の検討。

地域のバザーなどに参加し、加工品とともに販売を検討

など、売上を上げるために様々な取り組みを検討中。

○内職作業

- ・(株)せきづかからの授産作業

タイ(金具)をシートに差し込む、工場現場の作業員さんの作業準備

- ・ハートランド(株)からの授産作業

運営されているGHの利用者さんのシーツを洗濯

- ・(株)ユニワールド産業からの内職作業

赤しそジュース作成のための、赤しその葉を取る作業

○自主製品作成

- ・利用者さんの持っている力を引き出しながら、作品作りを行っている。

○だんだん：青梅市役所喫茶コーナー

- ・市役所2階にある、喫茶コーナーでのお仕事を毎週水曜日午後15時に請け負う。

利用者さんのご家族にボランティアに入って頂く。

○資源回収

- ・施設近隣地域の方から、アルミ缶やダンボールなどの資源を回収させて頂き、青梅市の指定業者に回収していただいている。収益金は、“成木を元気にする会”に入り、いいあさファームの活動と地域活動への資金に寄与してもらっている。

3、経過報告

① 定員推移

○多機能型事業所

- ・平成30年4月1日より 定員変更

就労支援継続B型事業 12名、生活介護事業 8名

特別支援学校の卒業生を受け入れる予定の中で、定員変更を行い、今後の重度の利用者さん受け入れに備える。

*12月現在、98%までできており、定員変更とともに、新しい作業場の検討行っていく必要性が出てきている

② 事業所特記

○助成金受託

- ・愛恵福祉支援財団：物置（20万円）
資源回収倉庫として活用
- ・松の花基金：カーポート（35万円）
車椅子利用者乗降駐車場の屋根を設置
- ・出光文化福祉財団：太陽光発電装置（100万円）
しりうす棟の電力を賄うために、設置

○壁に穴が空く

利用者さんの不穩により。保険会社での対応

○車での事故

- ・駅のロータリーで急発進してきた車がぶつかってくる
保険にて対応
- ・施設内にて、バックで進行している際に、通路脇に停車中の車へぶつかる
事業所予備費より拠出
- ・送迎中に、道路を飛び出してきた子供と接触
保険にて対応